

歌壇

大下一真選

特選

長々き疫禍をくぐりぬけて来て写経の席に墨磨りてをり

本駒込 唐木 よし子

「心」^{しん}の字のありかをさがし一巡す名残の夏の三四郎池

小石川 狩谷 求

夏休み体操会へ向かう子の胸のカードに赤丸並ぶ

千駄木 上杉 紀世子

入選

わあわあとお散歩カートの園児たち開店前の地下街に行く

小石川 中野 千鶴子

丁寧にラップを外す雨の朝濡れず届きし新聞開く

千石 菊地 正矩

真夏日に銀杏二つほど落ちて秋をよびだすジュラ紀の匂ひ

本駒込 岡本 千晶

素晴らしいとても嬉しい有難う何度も言われ今日はいい日だ

白山 長濱 直

もう要らぬ外国行きのパスポート今六義園年間パスポート

白山 長濱 晴子

それぞれの人生を至て集いたる同窓仲間は美しく老ゆ

大塚 小出 風沙子

暗闇の切支丹坂に人の影こちらに来るのそれとも行くの

水道 菅井 茂子

令和5年度 第3回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

俳壇

松澤 雅世 選

特選

蛭蝶しじみちよういま金星へ発ちにけり

本駒込 岡本 千晶

人類の次は誰の世虫すだく

大塚 奥山 興悦

あぶれ蚊を叩かず逃がす齡かな

小日向 内野 仙也

入選

迷走の台風君も青春か

千石 菊地 正矩

新しいスマホ赤色萬珠沙華

湯島 佐々木 昌子

木魚にも調子に乗らぬ花の雨

本駒込 関口 けい子

銀杏舞う胸突坂の昼下がり

関口 田中 早

シュレツダーに溜まる秋思の紙片かな

小石川 中野 千鶴子

秋澄むやハープ音符の落ちてくる

本郷 町田 菊男

蛸の止めば動悸の高まりぬ

向丘 丸岡 正児